

道営住宅における吹付けアスベスト等の使用について

道では、平成8年度以前に建設した全ての道営住宅を対象に、平成17年度から20年度にかけて、アスベスト等分析調査を実施しており、現在、全ての道営住宅で吹付けアスベスト等を使用していないことを確認しておりますが、平成29年6月12日以降、ニュースや新聞などで公営住宅におけるアスベストの使用実態について報道があったことから、改めて道営住宅における吹付けアスベスト等の使用について、お知らせいたします。

1) 調査結果について

小樽市道営住宅若竹団地（現在は市に譲渡し市営住宅）において、天井の内装仕上げ材の「吹付けひる石」からアスベストの一種が検出されましたが、表面に剥落等がなく、安定した状態であり、室内の空気中の飛散濃度測定においても、アスベストは検出されず、建設から調査時まで飛散がなく安全であることを確認しました。

なお、当該団地においては、市に譲渡後、平成22年度から25年度までにアスベストの除去工事を実施しております。

<団地概要>

- ・ 団地名：(旧)小樽市道営住宅若竹団地
1号棟 (59戸) 昭和46年建設
2号棟 (60戸) 昭和48年建設
- ・ 所在地：小樽市若竹444-2
(平成22～24年小樽市へ譲渡、現在小樽市営住宅)
※ 3号棟 (59戸) については、不検出

2) その他

平成9年度以降に建設した道営住宅では、吹付けアスベスト等は使用しておりません。

問い合わせ先

建設部住宅局住宅課住宅管理グループ

電話 011-204-5583